



SERVE TO CHANGE LIVES

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2021～2022 年度 RI のテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



facebook



会長 宮田 雄一 幹事 大作 貴洋

<http://www.sugito.club>

第2621回例会2021年9月16日

9/30 の例会は緊急事態宣言の延長につき休会

10/7(和泉屋)例会からハイブリッドで再開します

9月理事会報告(9/16開催)

10月例会予定

10月	
7日	結婚誕生・理事会報告・雑誌紹介 (和泉屋)
14日	セミナー報告(公共・増強・国際・財団)
21日	外部卓話(米山学友)1～2名
28日	セミナー報告(財団・国際・米山)

10月以降の例会について

10月よりハイブリッド例会の再開

会場出席者の制限(ワクチン2回接種者を目安)

第1・3例会(和泉屋)、第2・4例会(アグリパーク)

さいしん例会会場での例会について

例会場に参加した会員から感染者が出た場合、さいしんへの報告と保健所の指導のもと杉戸支店の消毒を行う必要があることから、営業に差し支えないよう配慮をもって当面の間移動例会を行う→承認

上半期社会奉仕事業について

① 新規事業の提案→杉戸子育て応援フードパントリーに米を寄付する事業→承認

コロナ禍でひとり親世帯の貧困が社会問題に。公式訪問のお弁当代の余剰金を充てて「すぎと居場所づくり応援隊(杉戸町・教育委員会・社会福祉協議会後援)」を通じた食料支援をする事業、12万円を予定(1万円×12カ月のイメージ)

家庭にある食品で子育て支援を!
「すぎと居場所づくり応援隊&杉戸町」がフードドライブを実施します

問合せ 福祉課 内線262
子育て支援課 内線276

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスが問題になっています。今回、寄付いただいた食品を必要としている子育て世帯に提供するために、すぎと居場所づくり応援隊と町がコラボし、杉戸町の住民の方を対象に、フードドライブを実施するものです。

【フードドライブとは?】
様々な理由で捨てられてしまう食品を家庭から寄付してもらい、必要とする方やパントリー等に無償で提供する活動です。
受付期間 9月15日(木)まで
持参場所 福祉課、子育て支援課の窓口

■お受けできる食品
○賞味期限が設定されている場合、1か月以上余裕のあるもの
○未開封で常温保存ができる食品
・レトルト食品、調味料、缶・瓶詰
・お菓子、スナック類、ジュース、コーヒーなど
・インスタント麺、乾麺・乾物(ふりかけ・海苔など)
・野菜、果物、米など

■お受けできない食品
・肉、魚
・冷凍・冷蔵品
・アルコール類

寄付後の流れ
家庭 → 杉戸町役場 → 杉戸子育て応援隊 → パントリー! → 必要とする方へ

広報すぎと 令和3年(2021年)9月号

② 吹奏楽部学校支援金 6校へ寄贈(～11/23)
各学校 5万円(音楽祭中止の年度のみ)

③ 地区補助金事業→杉戸町へコロナワクチン接種会場への備品寄贈(完了)

9/29 杉戸町役場で贈呈式(参加者:会長・幹事、社会奉仕、財団委員会から数名 10:30～)

■ 10/4 地区ゴルフ、第6グループゴルフの中止決定

■ 0480-31-0037 回線の停止(11月から予定)

→ 0031 回線を電話&FAXにする

地区からの各案内や連絡が、PCメールに移行し FAX利用はクラブ内のみになったため回線を縮小

■ 青少年委員会より派遣応募生合格の報告

春日部共栄高校 2年 阿部凌馬君

祖父が元春日部西 RC 会員

ご家族は海外留学生のホスト経験あり

1年間のホストファミリーも可(承諾あり)

事業への理解から会員になる可能性も見込める

■ 次年度関連書類の提出 ※10/10 締切り

地区役員の推薦状、次年度エレクト・幹事の選任については未決定 10/7 理事会で再度協議

エレクトは後日に地区事務所に提出する方向

米山記念奨学部門報告

9/18(土)ZOOM 部門セミナーが開催されました。



コウ・イツェンさんが学友としてスピーチを行うので、ZOOMの方には自由参加でご案内をお送りしました。ご参加頂きました方々ありがとうございました。

例会日: 木曜日 12:30～13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

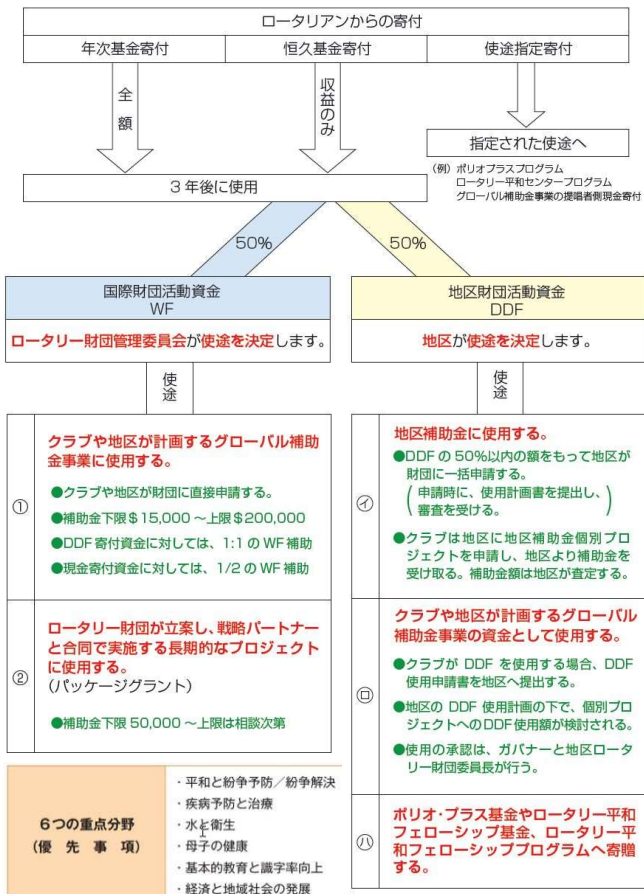
事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031

ロータリー財団寄付について

杉戸 RC では、各会員の会費から一人当たり 200\$ を R 財団に寄付しています。その寄付金は 3 年後に地区補助金としてクラブに約 1400\$ 戻ってきます。それを利用して行うのが地区補助金事業です。※恒久基金寄付(任意)は積立てられその収益のみ使用されます。

一昨年は杉戸町公用車にドライブレコーダー取り付け
 昨年は、杉戸町に手指消毒液を寄贈、**今年はワクチン接種会場へ備品(テント、薬用冷蔵庫)を寄贈しました。**



寄付金はいろんな奉仕事業にいかされています



水汲む子供と会員



ロータリー米山記念奨学会寄付について

杉戸 RC では、各会員の会費から一人当たり 25,000 円を寄付しています。※普通寄付 5 千円、特別寄付 2 万円
 米山奨学生は、毎月 10 万円(大学院生は 14 万円)の奨学金を 1 年~2 年受けることができます。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

- ① **日本のロータリー独自の国際奉仕プログラム**
 民間最大の奨学事業。日本の全 34 地区によるロータリー多地区合同奉仕活動
- ② **日本で学ぶ外国人留学生を支援**
 公益財団法人を設立し運営
- ③ **最大の特徴「世話クラブ・カウンセラー制度」**
 経済的支援だけでなく奨学生の心をケアし、**ロータリアンとの交流を通じて**学校ではできない国際・文化交流を行い相互に理解を深め、**奉仕の精神・ロータリー精神を学び、ロータリーのよき理解者として**将来日本と母国との懸け橋になるなど、**国際親善に尽くす人材を育てる**(奨学生とロータリアンの双方に、大きな感動を与える事業)

民間外交として世界に平和の種子をまく—
 この事業は、「未来に種をまく」事業です。近年の日本と諸外国の関係は難しい状況が続いていますが、若者たちは必ずしもそうではないように感じます。日本のアニメや漫画に興味を持ち、日本を好きだと言い、留学に訪れる若者が大勢います。そんな「若者」に未来の種をまく当事業はさらに重要性を増しているのではないのでしょうか？
皆さんのお子さんやお孫さんが中心となる未来の社会に、国際理解、親善、平和の実を結ぶための事業であることをご理解ください。

米山記念奨学の奨学金は、外国人留学生に対する貧困救済ではありません。ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援です。